

登録日本語教員の経過措置に係る  
経験者講習

〈講習概要〉



文部科学省

## はじめに

在留外国人が増加傾向にある中で、日本語教育について、教育の質確保のための仕組みが不十分であることや、専門性を有する日本語教師の質的・量的確保が不十分といった課題が指摘されています。

これを受けて制定された「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律(令和5年法律第41号)」では、日本語教育機関を認定する制度を創設し、また、認定日本語教育機関で日本語を指導することができる「登録日本語教員」の資格制度を設け、日本語を学ぶ外国人それぞれが必要とする日本語能力が身に付けられるよう、教育の質の確保を図ることとしました。

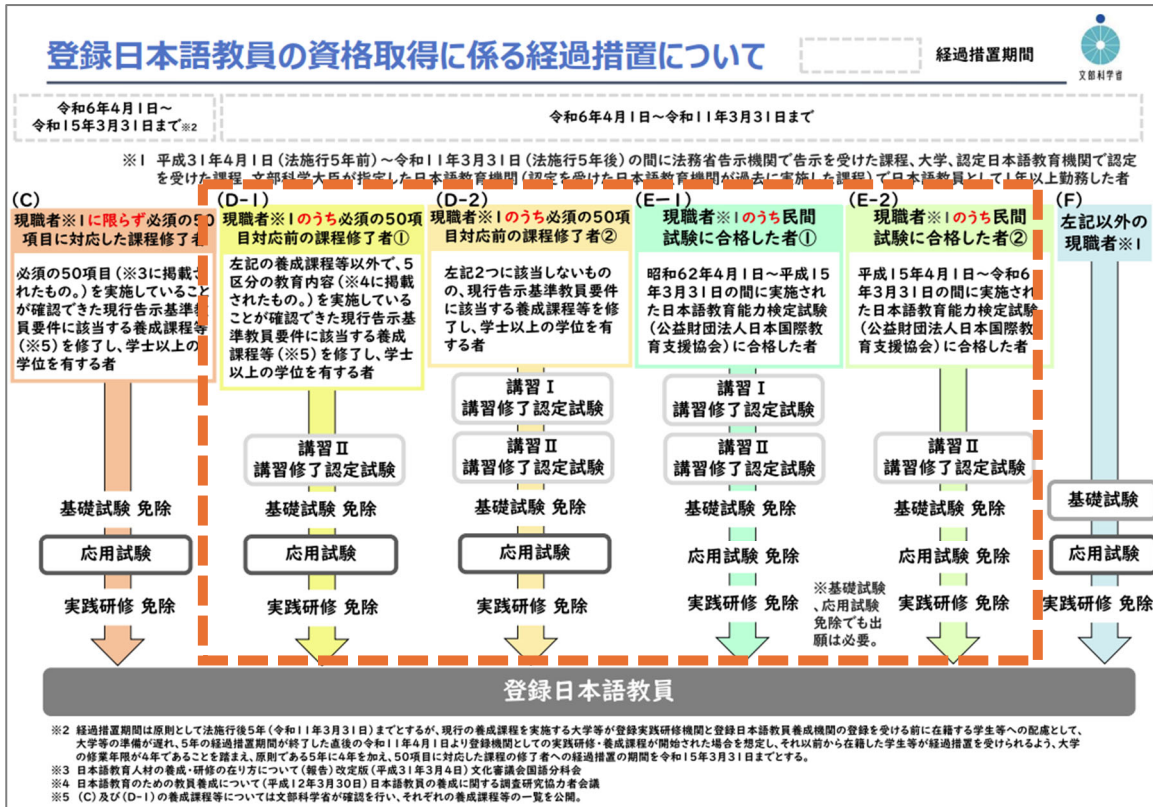
登録日本語教員になるためには、認定日本語教育機関において日本語教育を行うために必要な知識及び技能についての日本語教員試験(基礎試験と応用試験により構成)に合格し、文部科学大臣の登録を受けた登録実践研修機関が実施する実践研修を原則として修了する必要があります。

また、登録日本語教員の資格取得に関しては、現職の法務省告示校で告示を受けた課程の日本語教員の方を中心に、新たな制度への円滑な移行と負担の軽減及び上記告示校で学ぶ外国人の教育機会の確保等の観点から、一定の要件を満たす場合には、日本語教員試験や実践研修を免除する経過措置を令和11年3月まで設けています。

### 文部科学省の登録日本語教員の登録申請の手引き

([https://www.mext.go.jp/content/20240628-mxt\\_nihongo02-000034832\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20240628-mxt_nihongo02-000034832_2.pdf))にあるD-1、D-2、E-1及びE-2のルートの経過措置の対象者が日本語教員試験や実践研修の免除を受けるためには、文部科学省が実施する本講習を受講し修了する必要があります。

本講習は、現職の日本語教員にとって新たに習得が必要と考えられる知識についてのものとなります。



参考：「登録日本語教員の登録申請の手引き」を御覧ください。

経過措置は、対象となる方の属性に応じて C、D-1、D-2、E-1、E-2、F の6つのルートが設けられています。ルートの判定方法は **別資料〈申込方法〉(3ページ～)** に記載があるので、確認したうえで本講習へお申し込みください。なお、上記6つのルートのうち、「D-1、D-2、E-1 又は E-2」は、本講習を必ず受講する必要があります。

それ以外の方は、本講習を受講する必要はありませんが、講習の受講を妨げるものではありません。

経過措置のルートで御不明な点がある場合は、文部科学省 日本語教育機関認定法ポータル内「お問い合わせ」より御連絡をお願いいたします。

<https://www.nihongokyoku.mext.go.jp/application/common/inquiry>

※お問い合わせの際は、問い合わせの種別「登録日本語教員について」を選択してください。

## 講習概要

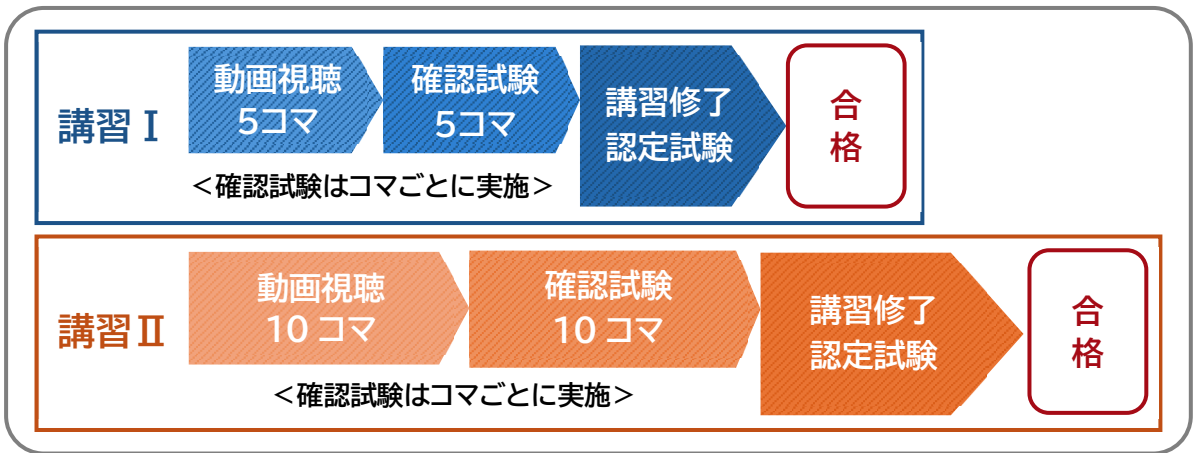
講習の受講パターンは2種類用意されており、いずれも e ラーニングシステムを利用したインターネット受講です。

動画視聴と確認試験、講習修了認定試験の受験をします。

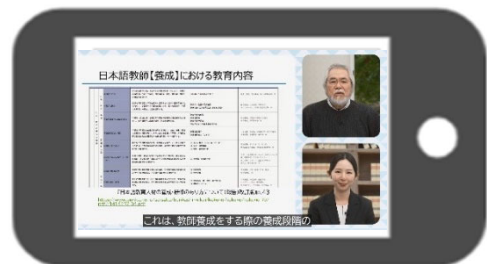
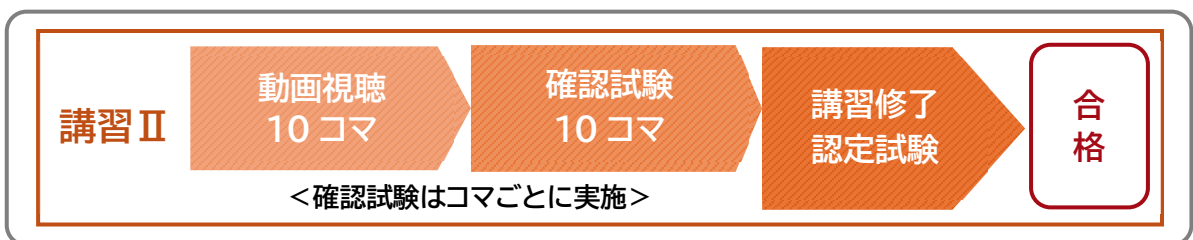
e ラーニングシステムへのログイン方法は、講習申し込み後にお送りする「**受講開始の御案内メール**」に記載しますので、そちらを御確認ください。

e ラーニングシステムの操作方法は、ログイン後 マイルーム内の[お知らせ]に掲載されている操作マニュアルを御参照の上、学習を進めてください。

### 受講パターン① 講習 I + 講習 II



### 受講パターン② 講習 II



各講習の概要は以下の通りです。

### 【講習 I】

**学習時間** 90分×5コマの動画視聴(7.5時間)

**合格条件** 90分×5コマの動画視聴  
10問×5コマの確認試験の合格(正答率70%以上)  
講習修了認定試験(10問)の合格(正答率70%以上)

**受講期限** 令和11年3月31日まで

<b>【1コマ目】</b> 日本語教育総論 I A -世界と日本の社会と文化 -言語政策 -世界と日本の日本語教育事情	・レッスン1~5 (約90分) ・確認試験(10問)
<b>【2コマ目】</b> 日本語教育総論 I B -多文化共生 -日本語の試験	・レッスン1~5(約90分) ・確認試験(10問)
<b>【3コマ目】</b> 日本語学習論 A -談話理解 -言語学習	・レッスン1~3(約90分) ・確認試験(10問)
<b>【4コマ目】</b> 日本語学習論 B -習得課程 -学習ストラテジー	・レッスン1~3(約90分) ・確認試験(10問)

<p><b>【5コマ目】</b>  <b>日本語学習論 C</b>          -異文化受容・適応          -日本語の学習・教育の情意的側面</p>	<p>・レッスン1～3(約 90 分)          ・確認試験(10 問)</p>
<p><b>講習修了認定試験</b></p>	<p>全 10 問</p>
<p><b>コースレビュー(アンケート)</b></p>	<p>全 13 問</p>

## 【講習Ⅱ】

**学習時間** 90分×10コマの動画視聴(15時間)

**合格条件** 90分×10コマの動画視聴  
10問×10コマの確認試験の合格(正答率70%以上)  
講習修了認定試験(20問)の合格(正答率70%以上)

**受講期限** 令和11年3月31日まで

<b>【1コマ目】</b> 日本語教育総論Ⅱ A -日本語教師の資質・能力 -目的対象別日本語教育法	・レッスン1～6(約90分) ・確認試験(10問)
<b>【2コマ目】</b> 日本語教育総論Ⅱ B -教育実習 -授業分析・自己点検能力	・レッスン1～3(約90分) ・確認試験(10問)
<b>【3コマ目】</b> 日本語教育総論Ⅱ C -在留外国人施策 -日本語教育史 -言語政策	・レッスン1～7(約90分) ・確認試験(10問)
<b>【4コマ目】</b> 日本語授業論 A -日本語教育プログラムの理解と実践	・レッスン1～3(約90分) ・確認試験(10問)

<p><b>【5コマ目】</b>  日本語授業論 B  -コースデザイン  -教材分析・作成・開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスン1～3(約 90 分)</li> <li>・確認試験(10 問)</li> </ul>
<p><b>【6コマ目】</b>  日本語授業論 C  -評価法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスン1～8(約 90 分)</li> <li>・確認試験(10 問)</li> </ul>
<p><b>【7コマ目】</b>  日本語授業論 D  -日本語教育と ICT</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスン1～3(約 90 分)</li> <li>・確認試験(10 問)</li> </ul>
<p><b>【8 コマ目】</b>  日本語授業論 E  著作権</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスン1～3(約 90 分)</li> <li>・確認試験(10 問)</li> </ul>
<p><b>【9 コマ目】</b>  異文化コミュニケーション総論  -異文化コミュニケーション  -コミュニケーション教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスン1～3(約 90 分)</li> <li>・確認試験(10 問)</li> </ul>
<p><b>【10 コマ目】</b>  異文化間教育総論  -異文化間教育  -多文化・多言語主義</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスン1～3(約 90 分)</li> <li>・確認試験(10 問)</li> </ul>
<p>講習修了認定試験</p>	<p>全 20 問</p>
<p>コースレビュー(アンケート)</p>	<p>全 13 問</p>



## 修了条件

- ・各コマすべての動画の視聴
- ・各コマにおける確認試験の合格(70%以上の正答で合格)
- ・講習修了認定試験の合格(70%以上の正答で合格)

※確認試験および講習修了認定試験は不合格の場合でも、追加費用なしで何回も再受験ができます。

※原則として、年度をまたいでも動画の視聴や各試験の受験が可能です。

## 修了証の発行方法

毎月20日に受講状況を確認の上、各講習の修了条件を満たした者に対し「**修了証**」を発行します。原則として、翌毎月上旬に以下メールアドレスより**電子データ**で修了証が届きますので、確認の上PCでダウンロードをしてください。

※2024年11月実施の「日本語教員試験」の合格者の皆様は、2025年4月30日までに、日本語教員試験事務局へ本講習の修了証を提出する必要があります。提出方法については、以下のサイトを御確認ください。

<https://nihongokyouinshiken.mext.go.jp/>

## 注意事項

- 受講にかかる期間を考慮し、なるべく早く受講開始するようにしてください。
- 下記の時間帯に講習(eラーニング)システムのメンテナンスを行っています。
  - ・日次メンテナンス [画面表示の遅延や、エラーが発生する可能性があります。]  
毎日 午前5時30分～午前6時30分
  - ・月次メンテナンス [すべてのサービスがご利用いただけません。]  
毎月第2木曜日 午前0時30分～午前6時30分

## お問い合わせ

### ▼経験者講習(申込方法/納入書の記載・送付/受講の御案内)についてのお問い合わせ

経験者講習運営事務局（株式会社インテージテクノスフィア）

[電話] 026-227-5212（平日 10:00～17:00）

※電話が繋がらない場合、メールにてお問い合わせください。

[メールアドレス] [nihongo-learning@intage.com](mailto:nihongo-learning@intage.com)

※原則翌営業日後までに御返信いたします。（土日祝日・年末年始を除く）

### ▼講習(e ラーニング)システムのユーザ ID とパスワードについてのお問い合わせ

経験者講習運営事務局（株式会社インテージテクノスフィア）

[メールアドレス] [nihongo-learning@intage.com](mailto:nihongo-learning@intage.com)

※ユーザ ID やパスワードを失念してしまった場合、上記メールアドレスまで、  
納入書に記載の「申込番号」を御連絡ください。

万が一、申込番号が分からない場合はお電話にて本人確認の上、メールにて  
ユーザ ID とパスワードを再送いたします。

※原則翌営業日後までに御返信いたします。（土日祝日・年末年始を除く）

### ▼講習(e ラーニング)システムの操作方法についてのお問い合わせ

株式会社ネットラーニング ラーニングセンター

[メールアドレス] [support@netlearning.co.jp](mailto:support@netlearning.co.jp)

※お問い合わせの際はご自身の「ユーザ ID」を記載の上、ご連絡ください。

※原則翌営業日までには御返信いたします。（土日祝日・年末年始を除く）

### ▼修了証についてのお問い合わせ

経験者講習運営事務局（株式会社ネットラーニング）

[メールアドレス] [nihongo-learning@netlearning.co.jp](mailto:nihongo-learning@netlearning.co.jp)

※修了証は毎月 20 日に修了データを確認の上、原則として翌月 10 日までに発行いたします。

※修了証の受領方法は別途講習システム内「操作マニュアル」をご覧ください。

※原則翌営業日までには御返信いたします。（土日祝日・年末年始を除く）

▼経過措置に関するお問い合わせ

文部科学省 日本語教育機関認定法ポータル内「お問い合わせ」

<https://www.nihongokyouiku.mext.go.jp/application/common/inquiry>

※お問い合わせの際は、問い合わせの種別「登録日本語教員について」を選択してください。

▼日本語教員試験に関するお問い合わせ

日本語教員試験サイト内「お問い合わせ先」

<https://nihongokyouinshiken.mext.go.jp/>